



令和3年度用

簡易な所得見込額の申立書(臨時特例用)

(新型コロナウイルス感染症の影響による減収を事由とする国民年金保険料免除・納付猶予申請)

この「簡易な所得見込額の申立書」は、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したことによって国民年金保険料の免除・納付猶予の申請を行うために、「国民年金保険料免除・納付猶予申請書」の「⑫特例認定区分」の「3. その他」に「臨時特例」とご記入いただき申請書をご提出する際に提出が必要です。

(注) この「簡易な所得見込額の申立書」は、日本年金機構が国民年金保険料免除・納付猶予申請の審査のためにのみ使用するものです。  
市区町村における国民健康保険料(税)及び市町村民税に関する申告用ではありません。

① 申請対象期間 令和3年度分(令和3年7月分以降) ※令和3年度分は令和4年6月分までが対象となります。

② 下記にチェック(☑)してください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

③ 収入が減少した者の氏名をご記入ください。  
※新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方の分のみ記載してください。  
記載のない方の分については、前年の所得に基づき審査します。

被保険者(申請者)氏名	配偶者(夫または妻)氏名	世帯主氏名
フリガナ	フリガナ	フリガナ

※ ※

※配偶者や世帯主がない場合や、配偶者や世帯主に②の収入減少がない場合は「なし」と記載

④ 収入が減少した後の所得見込額(簡易な所得見込額)をご記入ください。  
(裏面E欄の各控除等の控除後の所得見込額をご参考にご記入ください)

被保険者(申請者)の所得見込額	配偶者(夫または妻)の所得見込額	世帯主の所得見込額
円	円※	円※

(注) 税制改正により、給与所得控除等の控除額が改正されました。裏面の「給与所得控除、公的年金等控除の見込額」の算出にあたっては、令和2年度分と令和3年度分の計算が異なりますのでご注意ください。

※配偶者や世帯主がない場合や、配偶者や世帯主に②の収入減少がない場合は「なし」と記載

⑤ 備考欄

【記入上の注意事項】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方の分のみ記載してください。(記載のない方の分については、前年の所得に基づき審査します。)
- ③欄及び④欄は、配偶者や世帯主がない場合や、配偶者や世帯主に新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少がなかった場合には、それぞれ配偶者欄や世帯主欄に「なし」とご記入ください。申請者が世帯主の場合には、世帯主氏名欄に「本人」と記入してください。
- ④欄は、裏面の計算手順をご活用ください。(E欄の所得見込額をご記載ください。)  
(注) 税制改正により、給与所得控除等の控除額が改正されました。裏面の「給与所得控除、公的年金等控除の見込額」の算出にあたっては令和2年度分と令和3年度分の計算が異なりますのでご注意ください。

【添付書類】

- ②欄及び④欄を確認できる書類について、この申立書を提出する際の提示は必要ありませんが、申立書の記入内容を確認するため、申請期間の初月から2年間、日本年金機構から当該書類の提示又は提出を求められますので、自宅等で保管しておいてください。

上記の申立の内容に相違ありません。

日本年金機構理事長あて

令和 年 月 日 提出

住所 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

被保険者氏名 \_\_\_\_\_

受 付 印	
市区町村	年金事務所